

# 有期有目的入所のあり方



ボツリヌス注射 前後



下肢筋解離手術 前後

# 入所集中訓練治療で日常での支持歩行へ



5歳 支持歩行訓練



24歳 杖歩行可能



頻度の少ない  
通所訓練



12歳 つかまり立ち  
不能

# 療育による運動機能予後の違い

6～8歳頃杖歩行可能

入所集中訓練を繰り返し、日常で使えるレベルに！  
ボツリヌス治療、整形外科手術なども有用

3歳頃座位可能  
杖歩行の可能性

療育関係者：歩けないので移動は車いす  
頻度の少ない、訓練室内だけの通所歩行訓練  
機能の向上する時期を逸してしまう

つかまり立ち不能

# 大島分類と重心周辺児

IQ 35	21	22	23	24	25	重度肢体不自由 14~16 23~25	} 重心 周 辺 児
	20	13	14	15	16		
	19	12	7	8	9	境界領域 5~9	
	18	11	6	3	4		
	17	10	5	2	1		
	走れる	歩ける	歩行障害	すわれる	寝たきり		

3歳頃までに座れば支持歩行へ、3歳頃座れなくても支持立位へ

# 旧肢体不自由児施設 有期有目的入所アンケート結果

- 回答32/57施設、回答率は56%
- 親子入所実施施設 18施設56%  
単独入所実施施設 24施設75%
- 実施できない理由  
「外来対応でニーズが満たされている:6」、「設備が整わない:5」が多く、「スタッフ不足(医師、看護師、訓練スタッフ、MSW、保育士):2」、「看護師不足:1」、その他「ノウハウがない:1」、「スタッフへの説明や必要書類の整理をしてから対応:1」

# 医療型障害児入所施設における短期入所実施状況(18歳未満) (平成28年6月1日現在)

	全体	知的	盲ろう	福・ 肢体	福・ 自閉	医・ 肢体	医・ 自閉	医・ 重症	国・ 重症
実施施設	233	119	7	5	1	28	0	58	15
併設事業所で 実施	96	55	2	2	1	5	0	31	0
定員	634	304	11	4	3	29	0	283	0
空床利用型実 施	140	65	5	2	2	25	0	25	16
定員	1497	555	33	130	24	258	0	464	33
調査回答施設	273	136	10	6	2	31	1	66	21

# 医療型障害児入所施設における短期入所利用実績(18歳未満) (平成28年4月～6月)

	全体	知的	盲ろう	福・ 肢体	福・ 自閉	医・ 肢体	医・ 自閉	医・ 重症	国・ 重症
利用実人数	6094	1675	29	73	540	813	0	2654	310
利用延べ件数	15148	5775	97	235	180	2277	0	5822	762

一人当たり月当り平均利用回数

0.93      -      0.73      0.82

# 医療型障害児入所施設における短期入所利用実績(18歳未満) (平成28年4月～6月)

利用泊数	全体	知的	盲ろう	福・肢体	福・自閉	医・肢体	医・自閉	医・重症	国・重症
1	4906	2579	82	45	82	577	0	1412	129
2	2882	937	9	80	63	414	0	1241	138
3	1387	300	5	22	11	188	0	726	135
4～6	1682	299	1	9	14	160	0	1047	152
7～13	675	215	0	1	8	31	0	384	36
14～29	123	51	0	1	2	2	0	62	5
30～59	80	22	0	0	0	41	0	16	1
60～	122	102	0	0	0	0	0	19	1
計	11857	4505	97	158	180	1413	0	4907	597

1週間以内の利用が多いが、医・肢体では1-2泊が特に多い



# 旧肢体不自由児施設における短期入所実施状況 (平成30年3月現在)

空床型	45	(回答施設数 55)
(内併設型あり)	(5)	
併設型	7	

短期入所専任職員あり 6  
送迎あり 3

# 旧肢体不自由児施設における短期入所実施状況 (平成29年度)

延べ利用件数										実利用者数									
利用 件数 合計	うち 宿泊 なし	指定種別別内訳			障害区分別					利用 件数 合計	うち 宿泊 なし	指定種別別内訳			障害区分別				
		身体	知的	児童	区分1	区分2	区分3	遷延	重症			身体	知的	児童	区分1	区分2	区分3	遷延	重症
		17536		4346	2380	9829	79	194	2469			25	7788	4017		499	453	2741	14

(回答施設数 55)